

\*\*\*\*\*

「つくって・みる・ひろば」〈その4〉

## 『マイ・コレクション展』

～自分だけの展覧会をつくろう！～

2019年8月10日(土)に、特別展「山村コレクション展」関連こどものイベント「マイ・コレクション展」を開催しました。展覧会を鑑賞後、紙を組み立てた箱を展示室に見立て、作品シート(展示作品の写真をA4サイズ2枚にまとめたもの)から各自のストーリーに合わせて選んだ作品を貼り付け、ミニチュアの展覧会を制作しました。

みんなも、美術館の学芸員になったつもりで、自分だけの展覧会をつくってみませんか？

※美術館の展覧会は、学芸員というお仕事をしている人がテーマを決めたり作品を選んだり、  
どうやって並べるか考えたりしながらつくっています。

※「山村コレクション」とは…兵庫県西宮市に住んでいた企業家・山村徳太郎(1926-1986)が集めて、亡くなった後まとめて当館にあずけられた作品群です。

みんなは何かコレクションしているものはありますか？

☆ イベント当日の内容についてはこちら →「イベント通信」

<https://www.artm.pref.hyogo.jp/kids/blog/index.html>

### ●用意するもの

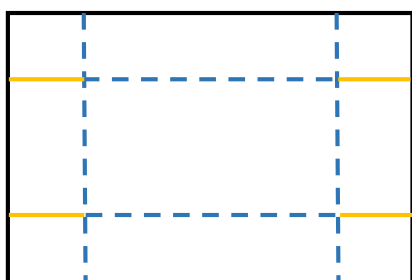
絵や写真が載っている読まなくなった広告・新聞、雑誌など  
厚めの紙、はさみ(カッターでもよい)、のり、筆記用具、テープなど

### ■展示室をつくろう！

一枚の紙を箱の形に組み立てていこう。

下の図に合わせて、直線のところを切り、点線のところを  
内側に折る。重なったところの紙を、のりやテープなどで  
はって箱の形に組み立てる。

出入口をつくりたい場合は、組み立てる前に切っておこう！



——— 切る  
- - - - 折る



空き箱がある人は、  
使ってもいいね。

カッターを使う場合  
は、気をつけてね。  
慣れていない人は、お  
うちの人と一緒に切っ  
てね。

## ■ 展示作品を集めよう！

箱型の展示室ができたなら、展示作品（マイ・コレクション）となる素材を集めよう。読まなくなった広告・新聞、雑誌などの印刷物から素材を選び切り取っていく。



箱型の展示室に入るのは、どのくらいの大きさかな？

作品といっても絵画、写真、イラストなどいろいろあるね。まずは、いいなと思う素材を集めてみてね。

印刷物の切り抜きだけではなく、身の回りにある小物などを集めてもいいね。

イメージに合うものがなければ、自分で描いてもいいよ。

## ■ 展示室に作品を展示しよう！

展覧会のテーマを決めて、集めた素材の中から展示する作品を選び、自分のストーリーに沿ってのりで壁に貼りつけて作品を展示していこう。

（のりではる前にテープで仮どめしてもいいね。）

必要なら空間を仕切る壁や展示台、額ぶちやキャプションをつくってみてね。それぞれ工夫してみよう。 ※キャプション…写真や絵などに付けられた作者、題名などの説明文

作品が展示できたら、「マイ・コレクション展」のできあがり♪

どんなテーマにする？

## ■ はなそう！

☆作品のタイトル(展覧会のテーマ)やストーリー、工夫したところやこだわったところをまわりの人にはなしてみよう！

☆兵庫県立美術館では、年に2回テーマを設けて当館所蔵作品を紹介する「コレクション展」を開催しています。よかったら、当館のコレクション展も見に来てね♪

どんな作品ができたかな？  
これからも「つくって・みる・ひろば」  
からいろいろ紹介するよ！



美術館の妖精 イベチャン